

資料編

1. 市章 (平成 17 年 4 月 1 日制定)



市を上空から俯瞰した景観を、歴史上縁の深い北条氏の紋所である「三つ鱗」と抽象化した伊豆半島、蛇行する狩野川をモチーフに表現しています。

2. 市の花・市の木 (平成 18 年 12 月 22 日制定)



すみれは市内に多くの種類が自生しており、古くから市民に親しまれています。また、全国的にも非常に珍しい種類があり、分布や生育研究において貴重なものとされています。

同じくスミレ科のパンジー、ビオラも含め、市内の花壇や各家庭において子どもからお年寄りまでが気軽に育て、観賞することにより伊豆の国市の一体感を醸成し、また、すみれの花いっぱい街として新たな魅力が生み出されるようにとの願いを込めます。



あやめの神秘的とも言える青紫色の花びらと剣のような葉が醸し出す優雅な美しさは、我々見る者の心を惹きつけてやみません。

またあやめは、市にゆかりのあるあやめ御前や源氏あやめ祭りとの関わりから、古くからこの地域のシンボルとして広く内外に知られています。今後もその美しさが市民に潤いを与え、また、市の観光振興にも大いに役立てられるようにとの願いを込めます。

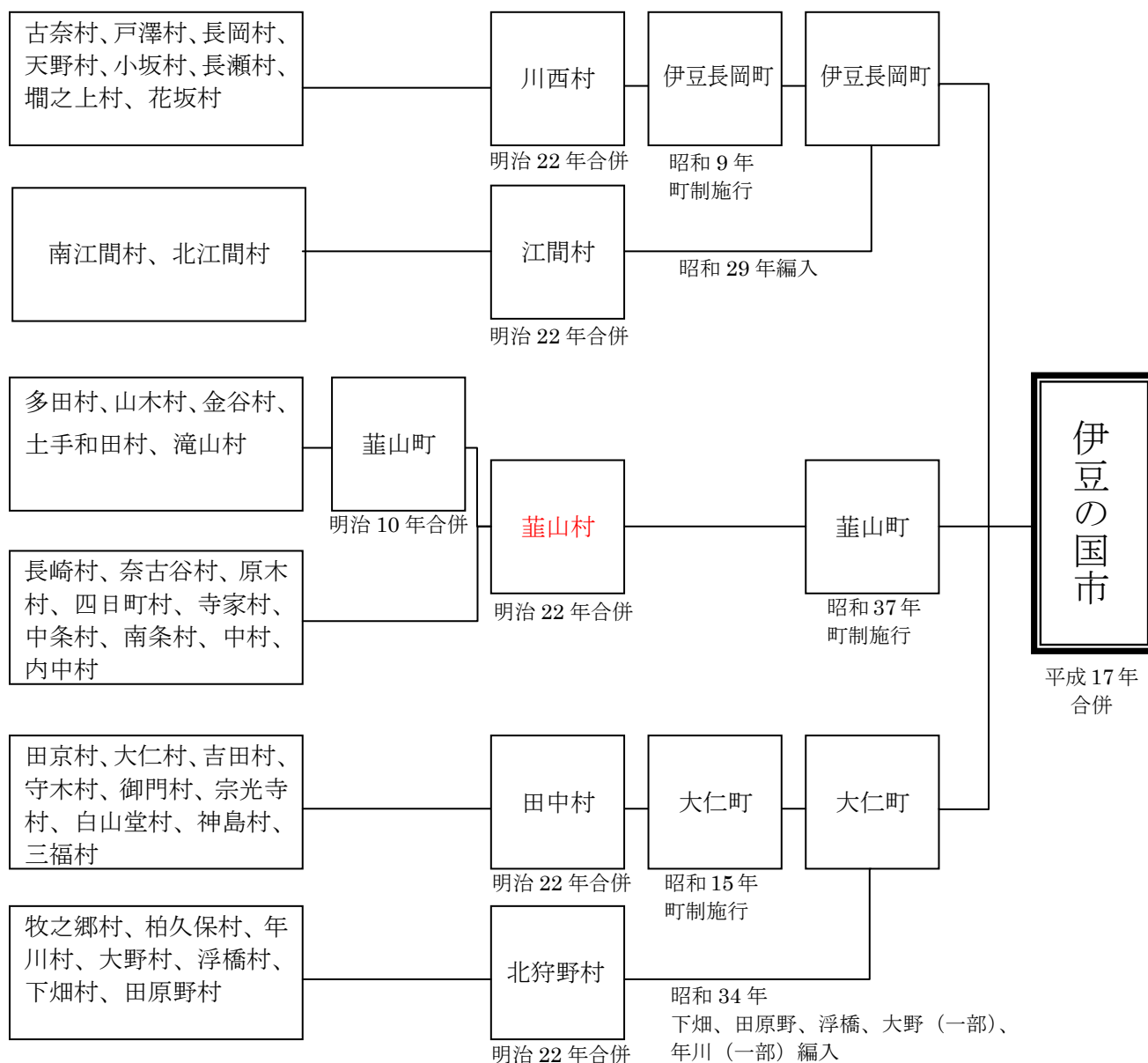


椰は古くから市内の寺社等で生育し、近年では街路樹として植えられ、美しい景観の一助を担っています。また、市にゆかりのある源頼朝と北条政子に関する言い伝えも残る、市民にとって関係の深い木です。

椰は「和木」とも表されることや、葉が横に割けにくいという特徴があることから、新たに誕生した伊豆の国市が強い絆で結ばれ、未来に向けて行政と市民が一体となって発展を目指すという願いを込めます。

3. 伊豆の国市の沿革

この地域は、古くは「伊豆の国」と呼ばれ、「和名抄」（930～935年編）によると田方郡を含んで那賀、賀茂の3郡、21郷があったとされています。明治以降の「明治の大合併」、「昭和の大合併」、「平成の大合併」を経て、現在の「伊豆の国市」となりました。



資料編

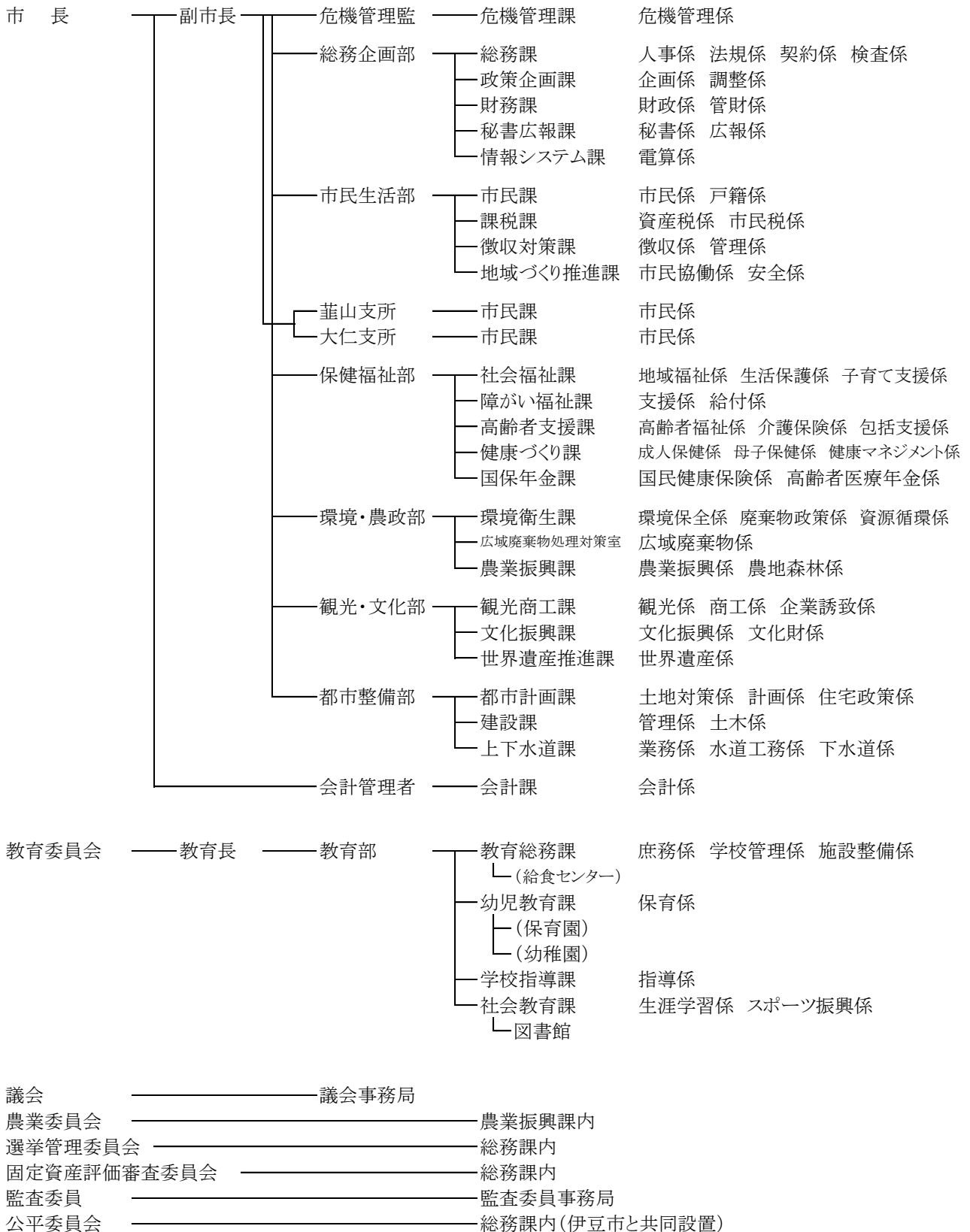
4. 伊豆の国市のあゆみ

2005年 (平成17年)	4月	3町合併により「伊豆の国市」誕生 市長・市議会議員選挙を実施	
	5月	市建設業協会と災害応急対策業務に関する協定を締結 神島川かんじょう保存会が河川功労者表彰を受賞	
	6月	市上下水道工業会と災害応急対策業務に関する協定を締結	
	7月	合併記念式典をアクシスかつらぎにおいて実施、合併功労者を表彰	
	11月	伊豆の国市友好都市交流協会の設立総会を開催 将棋の日イベントをアクシスかつらぎにおいて開催	
	12月	市内初の道の駅「伊豆のへそ」が開駅	
2006年 (平成18年)	2月	浮橋地区の温泉が湧出	
	3月	蛭ヶ島公園に蛭ヶ島茶屋が竣工	
	4月	市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定	
	5月	地域包括支援センターを高齢者支援課内に設置 小坂太田地区内水排除施設工事完成	
	7月	長岡・古奈雨水幹線その3工事が完成	
	8月	庁舎一部移転および伊豆長岡庁舎別館誕生	
	10月	青色回転灯パトロール車発進 国勢調査基本集計の結果公表 人口5万11人 世帯数1万8,370世帯 ねりんピック・ペタンク交流大会を開催	
	11月	伊豆ナンバー導入 京都府長岡京市と姉妹都市盟約を締結	
	12月	第1回下駄ダンスコンテストを開催 市の花「すみれ」「あやめ」、市の木「榊(なぎ)」が制定	
	2007年 (平成19年)	1月	第1回パン祖のパン祭りを開催
3月		県下市町と共同で電子申請システムの運用を開始	
4月		天野公園(狩野川リバーサイドパーク)整備が完了 第1次伊豆の国市総合計画がスタート	
8月		地域子育て支援センターすみれがオープン	
10月		伊豆ナンバー誕生記念「伊豆マラソン大会」を開催	
11月		葦山反射炉が経済産業省の近代化産業遺産に認定 市内4小学校の放課後児童クラブを新築	
12月		新・大仁橋が開通	
2008年 (平成20年)	1月	姉妹都市・長岡京市と災害時等の相互協定を締結	
	3月	伊豆の国市歴史ガイド案内センター竣工 田中山分校の閉校式典を開催 江川邸駐車場の歴史ガイド案内センター、観光トイレが竣工	
	4月	農業活動拠点施設「長崎会館」落成式 伊豆の国観光パスポート発行 古奈湯元公園完成	
	6月	浮橋温泉スタンドを開設	
	7月	こども医療費(小学3年生まで)助成事業スタート 地域子育て支援センターたんぽぽオープン	
	8月	長岡南浴場新築工事着工	
	9月	台風狩野川50年慰霊式典開催	
	10月	大仁中学校新校舎建設スタート	
	11月	大仁小学校田中山分校閉校	
	2009年 (平成21年)	1月	守山西公園が竣工 長岡南浴場が竣工
		3月	葦山高架橋(松原橋～四日町東交差点)が開通 『パン祖のパン祭』が県コンベンションおもてなし大賞・優秀賞受賞 「大仁町史資料編 二 近世」が発刊
4月		伊豆の国市長・市議会議員選挙を執行 四日町排水機場ポンプ増設工事完了	

2009年 (平成21年) つづき	8月	市役所大仁庁舎に法務局登記証明書等交付窓口を設置	
	10月	市役所が『エコアクション21(環境経営システム)』の認証を取得 大仁警察署と「生活保護制度における暴力団排除に関する連絡協体制の 確立についての協定書」を締結	
	10~11月	国民文化祭・伊豆の国市イベント(合唱、演劇、オペラ、文学、温泉、歴史)を開催	
	11月	全国10自治体による『近代化産業遺産群サミット』を江川邸で開催 『第1回 葦山竹灯籠まつり』を江川邸で開催	
	12月	戸沢川の改修工事に伴い皆澤橋が開通	
2010年 (平成22年)	1月	第2期福祉村敷地整備工事が完了	
	3月	大仁東小学校が閉校	
	3月	県立大仁高等学校が閉校	
	4月	伊豆の国市消防団女性消防隊が結成 気象情報やイベント情報など、Eメール配信サービスを開始	
	6月	反射炉自然公園が竣工 小坂排水機場ポンプ増設工事完了	
	9月	伊豆の国市初のインターネット公売を実施	
	10月	市営堆肥化施設「資源循環センター『農土香』」竣工	
2011年 (平成23年)	3月	大仁中学校新校舎が竣工 田京幼稚園新園舎が竣工 第2期福祉村整備事業の就労継続支援B型事業所「もくせい苑」が竣工 高齢者温泉交流館をオープン	
	3~9月	東日本大震災被災地 宮城県多賀城市を多面的に支援	
	4月	「完熟たい肥農土香」販売開始	
	5月	農土香塾が開校	
	6月	葦山反射炉が世界遺産登録を目指す 『九州・山口の近代化産業遺産群』の構成資産候補に追加	
	8月	長岡幼稚園新園舎が竣工	
	10月	景観行政団体となる	
	11月	第1回『垣庵フェア』開催	
	2012年 (平成24年)	3月	第1次伊豆の国市総合計画 後期基本計画を策定 共和幼稚園新園舎が竣工 田方福祉村に共同生活介護事業所「なぎの家」、生活介護事業所「あおばの家」が完成 大仁警察署と「消費生活侵害事犯の被害拡大防止に向けた連携に関する協定」を締結
		4月	源頼朝挙兵830年祭オープニングセレモニーを開催 葦山反射炉の世界遺産登録を支援する会(葦山反射炉応援団)設立 順天堂大学医学部附属静岡病院と「災害時の医療保護活動に関する協定書」を締結
		6月	2012全国市町村あやめサミット連絡協議会を開催
11月		深沢川改修促進期成同盟会発足	
2013年 (平成25年)		2月	堀越保育園新園舎が竣工
	3月	四日町水源施設が施工	

5. 伊豆の国市の行政機構

(平成 25 年 8 月 1 日現在)



6. 伊豆の国市の生活指標

静岡県発行 平成 24 年度 「市町の指標」より ※県内 23 市中の順位です。

区 分	順位	基礎数値
1 面積と人口		
(1) 県総面積に占める面積割合	17	1.2 %
(2) 県総人口に占める人口割合	17	1.3 %
(3) 可住地面積割合	13	44.8 %
(4) 人口密度	11	1,170 人
(5) 外国人登録人口割合	18	1.1 %
(6) 人口増加率	16	△ 1.5 %
(7) 昼夜間人口比率	16	95.4 %
(8) 年少(0-14 歳) 人口割合	17	13.0 %
(9) 生産年齢(15-64 歳) 人口割合	18	60.8 %
(10) 老年(65 歳以上) 人口割合	5	25.8 %
(11) 一世帯当たりの世帯人員	16	2.6 人
(12) 高齢者のいる世帯割合	7	45.2 %
(13) 普通出生率(人口千人当たり)	19	6.7 人
(14) 死亡率 (//)	15	9.7 人
2 行財政		
(1) 市町村職員数(人口千人当たり)	13	7.0 人
(2) 財政規模(人口一人当たりの決算額)	9	366,560 円
(3) 標準財政規模	17	11,626,381 千円
(4) 財政力指数(3カ年平均)	19	0.757
(5) 一般財源等比率	14	71.6 %
(6) 市町村税(普通税)徴収実績	21	84.7 %
(7) 経常収支比率	5	82.3 %
(8) 人件費の割合	5	15.1 %
(9) 投資的経費比率	16	12.4 %
(10) 地方債現在高比率	9	158.6 %
(11) 住民一人当たりの地方債現在残高	14	371,222 円
(12) 積立金現在高 (人口一人当たり)	4	96,592 円
(13) 実質公債費比率	6	9.7 %
(14) 将来負担比率	10	60.6 %
3 生活環境		
(1) 都市公園等面積(人口一人当たり)	5	14.3 m ²
(2) 汚水衛生処理率	10	61.0 %
(3) 市町道の道路実延長	18	636,265 m
(4) 持家率	15	64.8 %
(5) 公営住宅戸数(公営住宅率)	16	1.4 %

4 教育			
(1)	小学校児童数(教員一人当たり)	5	19.2 人
(2)	中学校生徒数(")	5	16.3 人
(3)	高等学校等進学率	11	98.1 %
(4)	図書館蔵書冊数(人口千人当たり)	8	4,235.5 冊
(5)	公共施設数(人口10万人当たり)	4	32.2 ヶ所
5 医療と福祉			
(1)	病院施設数(人口10万人当たり)	6	12.1 ヶ所
(2)	一般病院数(")	4	12.1 ヶ所
(3)	一般診療所数(")	21	56.4 ヶ所
(4)	病院病床数(")	2	2,057.8 床
(5)	国民健康保険診療費(加入者一人当たり)	15	242,825 円
(6)	医師数(人口10万人当たり)	1	495.3 人
(7)	歯科医師数(")	9	62.4 人
(8)	薬剤師数(")	1	193.3 人
(9)	保健師数(")	7	28.2 人
(10)	婚姻率(人口千人当たり)	14	4.9 件
(11)	離婚率(")	11	1.8 件
(12)	生活習慣病による死亡率(脳血管疾患)(人口10万人当たり)	22	80.5 人
(13)	生活習慣病による死亡率(悪性新生物)(")	9	285.9 人
(14)	生活習慣病による死亡率(心疾患)(")	6	183.2 人
(15)	1歳6か月児健康診査実施状況(受診率)	22	94.0 %
(16)	3歳児健康診査実施状況(受診率)	12	95.0 %
(17)	保育所定員数に対する充足率	16	92.9 %
(18)	障害者自立支援給付費支給決定者率(人口比率)	8	0.52 %
(19)	要支援・要介護認定率	11	15.0 %
(20)	一人暮らし高齢者率	7	17.8 %
6 経済と労働			
(1)	労働力人口(男性)(人口比率)	17	73.3 %
(2)	労働力人口(女性)(")	12	51.5 %
(3)	第一次産業就業人口(就業者割合)	7	5.5 %
(4)	第二次産業就業人口(")	18	25.8 %
(5)	第三次産業就業人口(")	7	67.4 %
(6)	農家世帯数(販売農家)(世帯比率)	8	4.2 %
(7)	第一種兼業農家数(販売農家)(農家数割合)	18	14.1 %
(8)	第二種兼業農家数(販売農家)(")	10	58.3 %
(9)	専業農家数(販売農家)(")	5	27.6 %
(10)	経営耕地面積(販売農家)(農家一戸当たり)	19	72.8 a
(11)	製造事業所数(増加率)	11	△ 4.8 %

(12)	製造品出荷額(〃)	20	△ 5.1	%
(13)	小売業商店数(3カ年増加率)	6	△ 4.8	%
(14)	卸売業商店数(〃)	10	△ 8.2	%
(15)	小売業の年間販売額(〃)	12	0.9	%
(16)	卸売業の年間販売額(〃)	12	△ 1.1	%
(17)	第二次産業事業所数(5カ年増加率)	17	△ 0.9	%
(18)	第三次産業事業所数(〃)	22	△ 3.9	%
(19)	観光入込客数	17	2,162	千人

7 安全

(1)	火災出火件数(人口10万人当たり)	7	38.3	件
(2)	交通事故発生件数(〃)	16	775.2	件
(3)	刑法犯認知件数(人口千人当たり)	3	12.0	件
(4)	消防団団員数(〃)	6	9.1	人